

[前画面へ戻る](#)

科目名	図書館入門
科目名(英訳)	Introduction to Libraries
科目ナンバー	HX113C01
詳細情報	授業外学修時間: 週4時間
担当者 (非)は非常勤講師	石橋 豊之
単位数	2
開講学年	1年
開講セメスター	秋期毎週
対象学科 選択・必修	必修: 選択: HJ HF HI HW HH HM
他学科受講	
履修順序・履修情報	人数制限あり
担当者及び時間割	
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	人文学部の学部共通科目群に属する科目である。 また、司書課程の「図書館に関する科目」のうちの「基礎科目」に属する科目でもあるため、司書資格を取得するために必要な科目である。
身につく基礎力 / 身につく汎用力	調査・情報収集力 課題設定力

授業の主旨 (概要)	図書館について、役割、歴史と現状、運営形態、今後の課題までを包括的に把握できるようになることが目標である。図書館という概念について理解し、今後の課題設定や司書資格関係授業への参加方法について概観できる能力を得ることが重要である。 また、学部2年生以上の学生については原則司書課程登録者のみ履修できる(2年秋登録予定の学生は事前にその旨を教員に連絡すること)。	
具体的 達成目標	図書館の現状と動向、構成要素と機能、社会的意義、知的自由との関係、歴史など、また公立図書館の成立と展開、館種別図書館と利用者のニーズ、図書館職員の役割と資格、情報技術の最新動向、課題と展望などについて理解し、知識を身につけることを目標とする。加えて小レポート等を通し能動的に調査・情報収集をする能力を身につけることも目標とする。 最終的には、以下の能力の獲得を目指す。 ・図書館の機能について理解し利用することができる ・図書館制度について理解することができる ・将来的な図書館像を考えることができる ・基本的な調査及び情報の収集をすることができる	
	1	【内容】 ガイダンス: 図書館と図書館情報学および司書資格について解説する 【授業外学習】 今まで図書館をどのように利活用してきたかについてアンケートに回答する
	2	【内容】 図書館の歴史(世界): 古代から近代にかけての海外の図書館史を概観する 【授業外学習】 講義資料を用いて自習すること
	3	【内容】 図書館の歴史(日本): 古代から現代にかけての日本の図書館史を概観する 【授業外学習】 講義資料を用いて自習すること
	4	【内容】 現代の図書館の動向: 現在の図書館(特に公立図書館)がどのような状況なのか、そしてどのような課題を抱えているかについて解説する 【授業外学習】 小レポート①を作成
	5	【内容】 図書館の種類と制度: 図書館について館種ごとの法制度や特徴を解説する 【授業外学習】 講義資料を用いて自習すること
		【内容】 図書館におけるサービス①(サービス全般): 図書館におけるサービスのうちパブリックサービスを中心にみていく

1 図書館入門

授業計画	6	【授業外学習】	講義資料を用いて自習すること				
	7	【内容】	図書館におけるサービス②(利用対象別サービス):図書館におけるサービスは利用対象別(年齢等)に行うサービスが存在する。これらの具体的なサービスについて見ていく				
		【授業外学習】	講義資料を用いて自習すること				
	8	【内容】	図書館におけるサービス③(ゲームの活用):近年の図書館では館内にボードゲームを置くことが増えている。また、デジタルゲームを用いたイベントも実施されている。こうした図書館の新たな動向について見ていく				
		【授業外学習】	講義資料を用いて自習すること				
	9	【内容】	図書館の経営と組織:公立図書館においても経営の考え方は重要である。ここでは公立図書館にとって望ましい経営の形や組織について考える				
		【授業外学習】	講義資料を用いて自習すること				
	10	【内容】	地域と図書館:各自治体に設置される公立図書館にとって、その地域との関わりは重要である。その理念やサービスについて考える				
		【授業外学習】	小レポート②を作成				
	11	【内容】	図書館における情報技術:ここでいう情報技術やICTやデジタルに関するものを指す。図書館内で活用されている情報技術について見ていく。また、その一環として電子図書館についても解説する				
		【授業外学習】	講義資料を用いて自習すること				
	12	【内容】	図書館とデジタルアーカイブ:図書館において取り組んでいるデジタルアーカイブについてその実践を見ていく				
		【授業外学習】	講義資料を用いて自習すること				
	13	【内容】	目録・主題組織:図書館における情報組織化について解説する。具体的には目録・件名・分類についてである				
		【授業外学習】	講義資料を用いて自習すること				
14	【内容】	学術情報と図書館:この回は大学図書館に焦点を当てその取り組みや課題について解説する					
	【授業外学習】	講義資料を用いて自習すること					
15	【内容】	確認テスト					
	【授業外学習】	これまでの講義内容を振り返り、確認テストの対策をとること					
授業方法	座学 課題等については、基本的にはコメント等をつけて返却する予定であるが、多くの学生に共通するような一般的な注意事項等のコメントが多い場合は、個別に対応するのではなく、授業中に全員に対して一括してフィードバックする。						
成績の評価方法	各段階で行われる小レポート、授業への参加態度(各回で振り返りを実施)及び最終回に実施する確認テストの結果を踏まえて評価する。 小レポート2回(各10点) 確認テスト1回(50点) 授業への参加態度(30点)						
成績の評価基準	図書館について総合的に理解ができているかを評価する。 達成目標の90%以上の達成でS評価、80%以上でA評価、70%以上でB評価、60%以上でC評価						
教科書	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN	
	1.	『図書館情報学基礎資料: 第5版』	今 まどり, 小山 憲司	樹村房	1320	978-4-88367-386-5	
参考文献	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN	
	1.	『図書館情報学を学ぶ人のために』	逸村裕, 田窪直規, 原田隆史	世界思想社	2640	978-4790716952	
	2.	『図書館概論: 改訂版』	高山正也, 岸田和明	樹村房	2200	978-4-88367-271-4	
備考							
関連ホームページ							

1 図書館入門

 メール アドレス	石橋 豊之 sup9934@fsc.chubu.ac.jp
 オフィス アワー	

 前画面へ戻る